

第13回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成25年3月29日（金） 15：00－16：30

2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室

3. 出席者

(1) 委員

葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、中須賀委員、松本委員、山川委員、山崎委員

(2) 政府側

山本内閣府特命担当大臣（宇宙政策）、西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官

4. 議事要旨

山本大臣から、以下のような挨拶があった。

- ・ 前回、設置が決定した4つの部会について、今週、早速3つの部会の審議が開始されたと伺っており、精力的なご議論に感謝申し上げたい。
- ・ 予算を増やす努力をすることは当然だが、厳しい財政事情の中、宇宙利用の拡大、自律性の確保という新たな宇宙基本計画における2つの基本方針を踏まえて、メリハリのある宇宙予算の編成が必要不可欠。
- ・ 戦略的予算配分方針については、昨年よりも早く審議を開始いただくことで、各省の行う予算要求にこれまで以上に反映させていきたい。

(1) 独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）中期目標及び中期計画（案）について（報告）

事務局から資料1-1、資料1-2に基づいて報告を行った。

(2) 調査分析部会、宇宙輸送システム部会、宇宙科学・探査部会の状況（報告）

各部会長から資料2-1、2-2、2-3に基づいて報告を行った。

(3) 宇宙政策委員会 宇宙産業部会の委員について

委員長により指名された宇宙産業部会の委員について了解された。

(4) 平成26年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針の検討の視点について

事務局より、資料4に基づいて説明を行ったところ、本議題に対して、委員から以下のような意見等があった。

- ・ 利用拡大のためには、利用府省もしっかりと予算獲得することで、利用者が主体となって事業を進めることが重要であり、予算の在り方をきちんと議論すべき。
- ・ 利用拡大には安全保障が含まれることを明らかにするべき。また、政策の効率的な実施のために、宇宙利用が重要であるという視点も入れるべき。
- ・ 宇宙分野外の利用分野の方々との情報交換を行う場を設けることで利用拡大を図るべき。
- ・ 財政的に総枠が拡大する余裕が無い中で、優先順位を決めて、先にやるもの、延ばすもの、メリハリを付けるべき。
- ・ JAXAは従来以上に、利用拡大に向けた取り組みを行うべき。

審議の結果、平成26年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針の検討の視点については、委員会として了承された。 以上